

女性と女児の持続可能な夢実現を応援する
～小さな一歩に誇りを持って～

“キャッチ！SOS”キャンペーン

東北6県・北海道のソロプチミスト 86 クラブでは3回の国際デーに合わせ
女性の心と体が発信するSOSをキャッチしようと啓蒙活動を行います
緊急事態宣言下での外出自粛、他県への往来禁止、対面式による会合・行事の
禁止などが発令される中、12クラブより工夫を凝らした活動報告がありました



3月8日は「国際女性デー」
“キャッチ！SOS”：乳がんの早期発見につとめましょう

SI 青森

コロナ禍でクラブ活動も制限されがちですが、青森市男女共同参画のご配慮により国際女性デー記念講演会に当クラブものぼり旗を設置8名参加しました。【講師】平塚 穂乃佳さんの海外協力隊の経験談や世界と日本の比較から、改めて女性の生き方を考え、女性のエンパワーメント・人権と健康について学びました。(2021.3.6)



SI 本 荘

3月は、コロナ禍のため、街頭でのキャンペーンが出来ず、市内の公共施設を訪問し、「乳がんの早期発見につとめましょう」のパンフレットを配布し、話を聞いていただきました。皆さんが真剣に話を聞いて下さいました。(2020.11.25)



SI 石巻サン・ファン

例年、石巻市の福祉祭りの会場で来場者にキャンペーンチラシを配布、啓発活動をしているがコロナ禍の為中止。ダイヤモンド・キャンペーン茶話会に会員 10 名・会員候補者 2 名参加。キャンペーンボード・のぼり旗を立てチラシを配布し SI 活動の広報に努めた。(2021.1.13)



SI 北見みんと

自粛期間がありましたので、1ヶ月遅れになりましたが4月9日街頭啓発を行いました。リジョンののぼりと、癌センターからのリーフレット、ティシュペーパーを配りました。会員6名の参加です。(2021.4.9)



SI 郡山

国際女性デーの活動で、例年参加しているピンクリボン in 郡山は中止された。昨年から取り組み重宝されているタオル帽子の応用編 20 枚を作成し、乳がん方が治療している星総合病院化学療法室へ贈呈した。(2021.10.30)



SI 釧路アミティ

毎月発行の広報たよりの3月号に会員による「乳がん検診の勧め」を掲載し早期発見の重要性を会員に意識づけた。今例会で自己検診表を配布し、月に一度の自己検診と定期的な検診を合わせて習慣化する大切さを伝えた。(2021.3.23)



SI 三沢

感染拡大防止を考慮し、街頭での活動を自粛いたしました。

密を避け、3月業務定例会終了後、乳がん検診啓発カード入りのポケットティッシュ300個を、クラブ会員に配布。各自の知人や店頭・会社内での配布協力をお願いしました。(2021.3.18)



SI 登 別

毎年、ショッピングセンター アーニスのロビーで国際女性デーに合わせてピンクリボンを模造紙に貼ったり、乳がんの模型に触れてもらって早期発見、早期受診と啓発運動をしてきましたが、今年は市民対象にチラシ配布などもできず、市民活動センター「のぼりん」で作成したパネルを展示し、地元の新聞にも掲載してもらいました。(2021.3.8)



SI 能 代

今年度はコロナ禍にあり、大きな活動は自粛しました。しかし、何かしら啓発をしたく、会員の職場に SOS キャンペーンのポスターを掲示、ポケットティッシュをカゴなどに入れ、自由に持って行ってもらうようにしました。会員 8 名〈8ヶ所〉に各 20~30 個のティッシュを配布、国際女性デーとソロプチミスト能代の活動の認知に努めました。(2021.3.8)



SI 大館

コロナ禍で1月、2月の定例会及びオークション、Sクラブ合同の「夢を拓く」茶話会等が中止になりました。この度の国際女性デーキャンペーンは S クラブ抜きで三密を避け会員の自主参加で行いました。13名の会員の協力を得ました。(2021.3.8)



SI 仙台

仙台クラブは乳がん撲滅を願い、2015年より毎年、勉強会を開催しております。毎月19日はセルフチェックの日「ピンクの日」が今年より提唱されました。11月例会は19日にあたり、会員一同乳がんの恐ろしさ、早期発見の大切さなど再確認いたしました。(毎月19日)



SI 天童

乳がん早期発見キャンペーンをのぼり旗・活動パンフレット・ピンクジャンパーにてテッシュ配布を会員8名にて行いました。活動を行った場所は、天童市中部公民館・滝の湯ホテル・あづま荘に各100部を配置し活動を致しました。(2021.3.6)



乳がん早期発見へ
自己検診呼び掛け
ソロプチ天童
国際ソロプチミスト天童
(奥山歌代子会長)は6日、
同市の天童温泉のあづま荘



で乳がんの早期発見キャンペーンを繰り広げた。写真。真。
国際女性デー(8日)に合わせて活動を展開。奥山会長らメンバーがそろいのジャンパーでのぼりやチラシを手を訪れ、高橋ゆき江女将に宿泊者や来館者への周知を依頼した。「子育て世代の女性の命を守るため、乳がんによる死亡ゼロを目指します」として自己検診などを勧め、PR用のティッシュ100個をカウンターに配置した。このほか、市内の滝の湯や天童中部公民館でもキャンペーンを行った。
(進藤和美)